

'02 全国盲導犬普及キャンペーン

デュエット

2002.4

第11号

GUIDE DOG MAGAZINE

訓練士・歩行
指導員たちが語る

盲導犬の
育て方



盲導犬と別れた時、
もう一度失明したかと思った。

「ベディグリー」は、盲導犬を必要とする視覚障害者は約7,800人、それに対して、盲導犬の数はわずか850頭、しかも盲導犬の育成は、訓練士の責任や協力、基金によって支えられているため、訓練士がとても不安定なのです。「ベディグリー」は、ひとりで多くの視覚障害者に盲導犬を届けられるよう、協力も呼びかけながら「全国盲導犬普及」をバックアップしています。

“ベディグリー”盲導犬育成支援キャンペーン



ベディグリー



©Master Foods

Duet

2002年4月発行 編集人 河内 光 全国盲導犬施設連合会発行
〒151-0071 東京都渋谷区本町1-21-1 SH小ビルビル8F
TEL.03-3375-6285 FAX.03-3375-6390

いちばん最初は、

仲良しに

なることから。

訓練士・歩行指導員たちが語る

盲導犬の育て方

学校に入学して、いちばん最初にすることはなんだろう。まず先生とお話して、それからクラスの友だちを知ること、自己紹介をして、みんなに自分のことを知ってもらったはず。同じように盲導犬育成も、まず人間と犬が「おたがいに知りあい、仲良くする」ことからはじまります。

●訓練のはじめは、まず犬とふれあいながら、「声かけの名前を呼んだり、はめる言葉をかける」「反応できるようにしていきます。それからスワジ、マテ、セオなどの訓練をしながら、ハーネス(胴輪)を着けて歩く練習をしていきます。」
〔北海道盲導犬協会〕

●まず、盲導犬に向いているかどうかという「適性」の見きわめが必要。健康で、性格がおたやかで、人間が好き、それと作業能力をふれあいながらよく観察します。
〔関西盲導犬協会〕

●人間の声に対する反応をよくしていくとともに、犬自身に判断力を身につけていへんことも大切にしています。
〔京都盲導犬協会〕

ちゃんと勉強する、
授業態度も大切。

盲導犬としての適性を見きわめるとき、楽しく訓練できているかどうかことも大切なこと。盲導犬としての仕事を楽しめるかどうかということが、その後の生活にとっても重要なことだからです。

●初めは勉強する態度をきちんと身につけるため、指導員に対する集中力をつけていきます。
〔福岡盲導犬協会〕

●名前を呼ばれたらふり向き、はめられたらしむを履くなども適性を見きわめるポイント。歩行訓練でも、人々犬を楽しく受け取るかが大切なことですよ。
〔関西盲導犬協会〕

●仕事を楽しめるように、失敗させず、しっかりと教えること、それから少しずつ失敗するまでも教え、失敗を繰り返さないようにしていきます。
〔日本ライトハウス〕

盲導犬訓練の流れ

- ①適性判断
盲導犬に向いている犬かどうかを、ふれあいながらで判断する。
- ②基礎訓練
犬が人間の言葉に反応し、理解できるようにする。
- ③歩行訓練
人を認識するほか、足音、杖音、障害物などをクリアする歩き方を教える。
- ④共同訓練
盲導犬ユーザー、盲導犬が力を合わせて歩く練習をする。



人間の言葉を、ちやんと

知るために。

訓練士・歩行指導員たちが語る
盲導犬の育て方

犬が人間の言葉を聞き分けて理解するためには、なによりもおたがいの信頼関係、愛情が必要で、訓練すればどんな犬でも人間を誘導できるわけではありません。盲導犬訓練士は歩く技術を教えるとともに、人間と深い愛情を結び、文えあう気持ちも育てなければなりません。

●主人に注目することで、主人を見るのが楽しいことなどを教えます。犬の適性によって訓練方法は異なりますが、しごらず、ほめながら楽しい訓練をするように心がけています。

〔熊本盲導犬センター〕

●犬が善しく作業でき、自主的に考え作業できるように訓練する。中でも大切な点、例えば、ある状況で、犬が自分で方法を調べるように、「それはお犬のアイデアだね」と褒めるように「お褒めだね」と声をかけます。

〔関西盲導犬協会〕

「グッド」と「ノー」をはっきり理解する。

やって良いこととダメなことを、それを正しく判断するためには、「フ

ッド(良い)」「ノー(ダメ)」という言葉の意味をはっきり理解できなければなりません。犬が人間に従う訓練(服従訓練)をおこなうとき、この点が大きなポイントになります。

●「ほめられ方」と「しごかれ方」をよく教えます。犬が集中力を失ったとき、すぐ集中力を回復するようにする必要があります。「しごかれるから従う」のではなく、楽しく従えるようにしていきます。

〔日本盲導犬協会〕

●声だけで従えるように注意して訓練しています。ヘッドの場合も、服従訓練で信頼関係をしっかりとらせておけば、散歩の時も引っぱる必要をなくすることができます。

〔中部盲導犬協会〕

ペットにとっても、

「服従」は大切なポイント。

「服従」と聞くと、なにかつらいことを強制されるように感じしますが、これは犬が人間社会に参加するために、とても重要なこととなります。ペットについても社会的なマナーとして必要でしょう。犬自身が「楽しく従える」ことが大切です。また盲導犬には、ある命令が危険だと判断した場合には従わない「賢い不服従」の訓練もおこなわれます。

●服従訓練は人への注意を高め、指示にスムーズに従うよう訓練を高めるための目的です。服従の入り口「フ」の強化が重要です。

〔北海道盲導犬協会〕

正しい歩き方、 正しい休み方。

加齢犬・歩行指導員たちが語る
官導犬の育て方

人間社会でじょうずに視覚障害者を誘導するために、官導犬は「正しい歩き方」や「正しい休み方」も学びます。道路には、段差、角、障害物など、目の不自由な人が歩くときに危険な状況がたくさんあります。官導犬はそれらをきちんと見分け、避けるための技術と判断力を身につけます。



されることがたびたびあるのは残念といわれるをえませんが、

●障害物の回避（段差、角での停止、階段やエスカレーターに誘導する速度のコントロールなど）、視覚障害者が安全に歩行できるように、官導犬訓練士があらゆる状況を想定して訓練しています。
（兵庫県官導犬協会）

●停止したとき、異いや他の動物に気をうはれないこと、障害物では、建物間、人の間、中央と上をど回避すべき状況の判断力を高めるようにします。
（中部官導犬協会）

●北海道では雪道の訓練も必要。冬は道路幅が狭くなり、場所によっては歩道が通れなくなります。道路状況は毎日変化して足もとも異なりますので、細かく主人を気づかせる状況の変化に対する応用力も重要になります。
（北海道官導犬協会）

さまざまな環境に適応するための応用訓練

歩行の他に、電車やバス、タクシー、飛行機などの交通機関を利用する際の誘導方法「マナー」、さらにはレストランや宿泊施設、お店や公共施設などでの誘導方法やマナーも、官導犬はしっかりと勉強します。官導犬に対する社会的な理解が進んでほしいですが、またその利用を拒否

●官導犬との接し方を知らなかったり、誤った情報をつのみたにしている方がまだ多いようです。ただ周りの方があまりかまってくれないうと、官導犬としての仕事がある子になります。視覚障害者の生活に支障をきたすことがあるので、あなたも上手に接してほしいですね。

●訓練士でも取り上げられず、マスのロケットに見られついで可憐でたくなる人も多いようです。ただ周りがあまりかまってくれないうと、官導犬としての仕事がある子になります。視覚障害者の生活に支障をきたすことがあるので、あなたも上手に接してほしいですね。

●訓練士でも取り上げられず、マスのロケットに見られついで可憐でたくなる人も多いようです。ただ周りがあまりかまってくれないうと、官導犬としての仕事がある子になります。視覚障害者の生活に支障をきたすことがあるので、あなたも上手に接してほしいですね。

●訓練士でも取り上げられず、マスのロケットに見られついで可憐でたくなる人も多いようです。ただ周りがあまりかまってくれないうと、官導犬としての仕事がある子になります。視覚障害者の生活に支障をきたすことがあるので、あなたも上手に接してほしいですね。

【官導犬訓練士・官導犬歩行指導員たちが感じている社会環境】

共同訓練は、

盲導犬ユーザーとの合宿で。

訓練士・歩行指導員が語る
盲導犬の育て方

約10ヶ月の間に適性判断、脱皮訓練、歩行訓練をおこなうと、いよいよ盲導犬ユーザーといっしょに町を歩く練習(共同訓練)にはいります。これは約4週間、各地の盲導犬訓練施設に合宿しておこないます。盲導犬ユーザーと盲導犬はこの訓練生活の間、ひとつの部屋で寝起きをともにして、家族としてのきずなを結んでいきます。

●盲導犬使用者希望者には、その人に最適な性格、スピード、体格などを考えて、パートナーとなる盲導犬を選びます。訓練は盲導犬の歩き方から、食生活の考え方、トイレのさせ方など、生活全般にわたります。たがいの信頼関係を築くこともとても大切なことです。

(北海道盲導犬協会)

●盲導犬ユーザーと盲導犬がともに事故やケガがなかったとしても、必ず注意が必要です。また訓練中に、ユーザーが人で喧嘩したりしないようにいろいろ話し合ったり、相談したり、人間関係の「トレーニング」も大切です。

(兵庫県盲導犬協会)

●もっとも気を配るのは、盲導犬ユーザーの能力の見きわめです。どのようにすれば、ユーザーと犬の両者の能力を引きだせるかをいじめることで訓練を進めます。

(日本ライオットハウズ)

いよいよ盲導犬ユーザーの町で、第二步。

共同訓練を卒業すると、いよいよ一人前の盲導犬として活躍することになります。しかし、また実際に盲導犬ユーザーの生活する町をすすむい歩けるわけではありません。そのため、卒業後も各盲導犬訓練施設の盲導犬歩行指導員が盲導犬ユーザーの暮らす町に訪問し、必要に応じて現地訓練をおこない、確実に安全に訓練できるように指導します。

●盲導犬歩行指導員

盲導犬ユーザーの生活する町に訪問し、必要に応じて現地訓練をおこなう。

●盲導犬訓練士

盲導犬ユーザーの生活する町に訪問し、必要に応じて現地訓練をおこなう。

●訓練の方法は盲導犬ユーザーに応じて異なります。施設での訓練と現地での訓練のバランスを考え、判断しなくては、現地で訓練に多くの時間を費やすようにしています。

(日本ライオットハウズ)

●最終的には盲導犬ユーザーに本人に自信をもってもらい、独立してもらえるようにします。危険と思われる場所には前もって話をし、十分に注意してもらったりアドバイザーします。また盲導犬に對する信頼感からでもあらわらうに気を付けています。

(中部盲導犬協会)





全国盲導犬施設連合会

〒151-0071 東京都渋谷区本町1-21-1 SH小林ビル8F TEL:03-3375-6285 FAX:03-3375-6390

【加盟施設一覧】

施設名	代表者名	所在地・連絡先
財団法人 北海道盲導犬協会	会長 佐々木紀夫	〒005-0030 北海道札幌市南区南30条西8-0-1 TEL:011-582-8222 FAX:011-582-7715 http://www.gddfobg.org
財団法人 栃木盲導犬センター	理事長 藤 敏一	〒321-0312 栃木県宇都宮市福岡町1295 TEL:029-652-3865 FAX:029-652-1417
財団法人 日本盲導犬協会	理事長 高井洋大	■本部/〒151-0071 東京都渋谷区本町1-21-1SH小林ビル8F TEL:03-3375-6291 FAX:03-3375-6282 http://www.jgda.or.jp/
		■仙台訓練センター/〒982-0263 宮城県仙台市青葉区茂田字松倉12-2 TEL:022-226-3910 FAX:022-226-3899
		■神奈川訓練センター/〒223-0066 神奈川県横浜市中区北区新吉田町6000-9 TEL:045-380-1285 FAX:045-380-1189
財団法人 中部盲導犬協会	会長 神作 博	〒455-0831 愛知県名古屋市中区十一丁目70-4 TEL:052-582-6778 FAX:052-582-6882 http://www.ccp.jan.jp/ chubu
財団法人 関西盲導犬協会	会長 飯塚貞夫	■事務局/〒615-8084 京都府京都市西京区杜神町15-1 TEL:075-383-2438 FAX:075-383-3629 http://www.sekkyo-inet.or.jp/~org/kgn/jp/
		■訓練センター/〒621-0807 京都府亀岡市若草町大岡本町15-2 TEL:0771-24-0323 FAX:0771-25-1854
社会福祉法人 日本ライトハウス	理事長 水塚泰弘	■法人本部/〒338-0012 大阪府大東市鶴見区今津中2-4-37 TEL:06-6861-3331 FAX:06-6868-2059 http://www.lighthouse.or.jp/~lk
財団法人 兵庫盲導犬協会	会長 田上順一	■行動訓練所/〒585-0056 大阪府河内郡千早赤松村大字東飯1202-11 TEL:0721-72-0914 FAX:0721-72-0916
		〒651-2212 兵庫県神戸市西区御影町御影南向井24 TEL:078-985-3481 FAX:078-985-3482 http://www.moudokan.org/
財団法人 福岡盲導犬協会	理事長 朝方敬吉	■事務局/〒810-0062 福岡県福岡市中央区北戸3-3-39福岡市市民福祉プラザ内 TEL:092-714-3188 FAX:092-719-3176 http://www.fodana.jp/~fgda
		■訓練センター/〒819-1122 福岡県藤原市大字東293-1 TEL:092-324-3169 FAX:092-324-3386

©平成14年3月現在

夢や希望。

盲導犬訓練士・盲導犬歩行指導員たちの



訓練士・歩行指導員たちが語る
盲導犬の育て方

●盲導犬訓練施設は、訓練だけではなく、訓練から盲導犬事業のPR、長年の犬への対応、メンテナンス、トレーニングなどいろいろな仕事をこなさなくてはなりません。職員数も少ないのが悩みの一つ。みなさんに少しでも関心をもってもらい、協力していただこうという気持ちです。

●盲導犬は、一般のペットとはかけ離れた「スードッグ」ではなく、ごく普通の犬だということを知ってほしい。盲導犬が正しく仕事するために、周りのみなさんの理解が欠かせませんから。

●盲導犬であつても人間関係や、仕事内容があるのが嬉しいです。もちろん、犬が1番も楽しめて、世の幸にあたりたくて働か入れてもらえたらいいのかなと思います。

●訓練方法を統一するのは難しいことです。各協会が思いやりを出し合つて、基準を作れるといいですね。訓練の基本は「愛情」といえます。愛情があれば、訓練はほづからつてきます。

●盲導犬の名はたい少知られるようになつてきました。犬にも動物大や介助犬と、働く犬、犬の職名は社会の一員になれるのだと。

●盲導犬は原則として「無償貸与」をするのですが、捜索隊者のなかにも、もこのことを知らない方が多いようです。みなさんからの寄付・募金でおこなつていく、ことをもっと多くの方に知ってもらいたいです。

全国盲導犬施設連合会平成13年度の主な活動報告

盲導犬事業に「種別」の区分を設けたいとの趣意にありながら、これに資する中、平成13年度は従来の枠を越えて任意で「種別」を設け、協賛者の意向のよむ活動をしてほしいとの趣意を述べた。昨年、盲導犬事業が社会福祉法に定められ、現在は「身体障害者補助犬法」が国会を通過し、施行が目前と見えています。この法は身体障害者補助犬

る「盲導犬」介助犬「聴覚犬」補助犬の3種に分け、基本に受け入れ態を整えておきたいとの趣意を述べ、平成13年度は法律に基づき、社会福祉法の施行の準備が整った「補助犬」の受け入れに努めたいとの趣意を述べ、視覚障害者が盲導犬に社会参加するための「全体的な支援」の整備をお願いしています。

「盲導犬普及キャンペーン」を全国76ヶ所で開催

平成13年度も、連合会企業を支援して実施している「ハイパーマーケット等の協力」を要り、各地の盲導犬「盲導犬普及キャンペーン」の活動がスタートし、大々的に行われました。全国に展開している盲導犬は、それぞれ平成12年度「盲導犬」に相当する場合は「盲導犬」として、「盲導犬普及キャンペーン」は「補助犬」に相当するものと見えています。

「東京都設置委員会」ありまんとて、エリートと「ハイパーマーケット」の両方からスタートして、各都府県でスタートする予定です。

盲導犬普及のための情報誌の発行

■「アポロ」と「30号」年1回1日発行を発行し、また、その内容を盲導犬施設の取組や、先進的な活動に集約して、自由に配布できるようにしています。

■盲導犬受け入れの啓蒙の「マナー」紹介をします。私の家来犬「」と作成し、各自治体、盲導犬施設、個人に配布する形で発行しています。



盲導犬普及キャンペーン「アポロ」

盲全協賛協力店における月別・地域別実施件数一覧

	北海道	東北	関東・甲信越	北陸	中部	近畿	中国	九州	計
4月	0	0	2	0	0	0	0	1	3
5月	1	1	7	0	3	4	0	1	17
6月	4	4	5	1	2	3	2	0	21
7月	0	0	0	0	0	1	0	0	1
8月	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9月	2	0	0	0	0	0	0	1	3
10月	1	0	4	0	3	4	1	3	16
11月	1	1	3	0	1	2	0	2	10
12月	0	0	0	0	0	3	0	0	3
1月	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2月	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3月	0	0	1	0	0	1	0	0	2
合計	9	6	22	1	9	18	3	8	76

※協賛協力店数：100ヶ所

■「盲導犬情報」年4回29〜32号を発行し、また、「福祉官等がかりワイヤレス」や「視覚者の方へ盲導犬の情報を提供する」ための事例集など、「盲導犬」版も発行しています。

日本財団助成事業

「盲導犬ハンドブック」の発行

盲導犬「マナー」の受け入れの啓蒙を主として、日本財団の助成を受け、ハンドブックを作成しました。元は「ハンドブック」を、視覚・交通機関等の関係者向けに受け入れを協力していただくためのハンドブックです。

社団法人兵庫盲導犬協会が運営地に加盟

兵庫県盲導犬協会は平成13年度任意団体として登記し活動してまいりました。平成12年に盲導犬センターが設立し、平成13年度に同協会を設立し、平成13年度の訓練を目的とする法人として登記を受け、全国に初めて盲導犬訓練施設として活動できるようにになりました。平成13年3月に当協会に加盟し、ともに盲導犬普及活動のために活動してまいります。

施設別施設職員「盲導犬訓練士」研修会の開催

平成13年11月20〜21日の2日間、施設別研修会を行いました。これは、研修士としての基礎教育として、「大会」に際しての研修士としての研修を目的として行われました。また、盲導犬施設職員研修センターとして、盲導犬訓練士の研修を目的に、職員間の交流を促すため、



全国盲導犬施設連合会 加盟施設卒業頭数

(社会福祉法人 日本盲人社会福祉施設協議会リハビリテーション部盲導犬委員会より)

※平成13年度の盲導犬供給数は、平成14年4月以降に集計されますので、次号「アップデート12号」でご報告させていただきます。

盲導犬に出会ったときは。

ハーネスをつけているときは、仕事中です。ハーネス(首輪)をつけている盲導犬には、声をかけたり、口笛を吹いたり、なでたり、尻を引くようなことはしないでください。尻がもると、安全に盲導犬ユーザーを誘導する仕事ができなくなる可能性があります。

仕事中の盲導犬には、食べ物を与えないでください。

盲導犬の食事時間はきちんと決まっています。盲導犬ユーザーとともに規則正しい生活をしています。これはお互いの信頼関係も盲導犬の健康を保つためにとっても大切なことです。かわいいと思っても、ぜったいに食べ物をあげたりしないでください。

ハーネスには、触らないでください。

盲導犬ユーザーはハーネスによって、盲導犬のような姿の状況を確認します。ハーネスはお互いをつなぐとても大切な道具です。ハーネスに触られると、盲導犬ユーザーも盲導犬を判断を誤るおそれがありますので、ハーネスにはぜったいに触らないようにしてください。

どうぞ、あたたかく見守ってあげてください。

盲導犬は特別な訓練を受けていますから、吠えたりかんだりすることはありません。しかし、ときには安全のためや周りに迷惑をかけないために吠えなければならないこともあります。そんなとき、いちばんつらいのは盲導犬ユーザーです。犬が苦手な方も、大好きな方も、あたたかく見守っててください。

盲導犬を受け入れてくださる自治体、施設に、「盲導犬飼育用」ステッカーの貼付をお願いします。

●自治体や施設に貼付してください。ステッカーの裏面に貼付してください。

TEL:03-3375-6285



合計90頭

